

○各取組項目の実施機関(小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

具体的な取組の柱	事 項	目 標 時 期	実施する機関														
			市町村			県			気象庁		国土交通省		中国地方整備局				
			大竹市	岩国市	和木町	広島県	山口県 河川課	山口県防災危機管理課	広島地方気象台	下関地方気象台	太田川河川事務所	広島国道事務所	山口河川国道事務所	弥栄ダム			
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組																	
■ 洪水を安全に流すためのハード対策の促進																	
	・堤防整備、高潮対策 (浸透対策、パイピング対策、 流下能力対策)	S	順次実施										○				
■ 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備																	
	・洪水に対しリスクの高い箇所 を監視する危機管理型水位計の 整備	E, M, O	H30年度											○			
	・洪水に対しリスクの高い箇所 を監視する河川監視用カメラ等 の整備	E, M, O	順次実施											○			
	・河川のリアルタイム映像の提 供設備の検討	E, M, O	H30年度											○			○
■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等																	
	・想定最大規模降雨における洪水 浸水想定区域図に基づく避難 計画の見直し	E, G	H28年度から 検討実施	○	○	○											
	・想定最大規模降雨における洪水 浸水想定区域図に基づくハ ザードマップの作成・周知	A, G	H28年度から 検討実施	○	○	○											
	・想定最大規模降雨における洪水 浸水想定区域図に基づく避難 勧告等の発令基準の見直し	E	H28年度から 検討実施	○	○	○											
	・要配慮者利用施設の避難確保 計画作成及び避難訓練の促進	L	H30年度から 検討実施	○	○	○											
	・各市町が管理する避難所の収 容人数等を共有し、隣接市町村 との連絡体制を構築	H	H30年度から 検討実施	○	○	○											
■ 多様な防災行動を含むタイムラインの作成																	
	・河川管理者、沿川自治体、住 民、交通サービス 道路管理者 等と連携したタイムラインの策 定に着手	C, K, M	H28年度から 検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・リアリティのある水防訓練の 実施	C, E, K, M, O, P, Q	H28年度から 検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 防災教育や防災知識の普及																	
	・想定最大規模降雨による堤防 決壊時、越水時の流水の破壊力 に関するイメージ 動画の作 成・公開	A, C	H28年度から 検討実施											○			
	・「川の防災情報」や地上デジ タル放送の活用促進のための周 知	E, I, M	H28年度から 順次実施											○			
	・出前講座等を活用した防災教 育の推進	B, C, D, F, I, J, L, N, O	H28年度から 順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・気象情報発信時の「危険度の 色分け」や「警戒級の現象」等 の改善	C, I	H29年度から 順次実施								○	○					
	・スマートフォン等へのプッ シュ型の洪水情報発信	C, E, I, M	H28年度から 検討実施											○			
	・住民の避難行動を支援するき めこまやかな防災情報の提供	J, N	H30年度から 検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動																	
■ 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備																	
	・洪水に対しリスクの高い箇所 を監視する危機管理型水位計の 整備(再掲)	E, M, O	H30年度											○			
	・洪水に対しリスクの高い箇所 を監視する河川監視用カメラ等 の整備(再掲)	E, M, O	順次実施											○			
	・河川のリアルタイム映像の提 供設備の検討(再掲)	E, M, O	H30年度											○			○
	・防災拠点の中心となる庁舎等 の代替施設となり得る民間施設 等との提携・連携	Q	H32年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化																	
	・水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	I, M, O	H28年度から 定期的な実 施	○	○	○											
	・小瀬川本川の重要水防箇所等 洪水に対しリスクが高い区間 について水防団や地域住民が参 加する合同点検を実施	M, O	H28年度から 定期的な実 施	○	○	○								○			○
	・リアリティのある水防訓練の 実施(再掲)	C, E, K, M, O, P, Q	H28年度から 検討実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・備蓄水防資機材情報の共有及 び非常時における相互支援方 法の確認	P	H28年度から 順次実施	○	○	○	○	○	○	○				○			○
③ 浸水を一日も早く解消するための排水活動の取組																	
■ 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																	
	・排水施設の情報共有、排水手 法の検討を踏まえた排水計画 (案)の作成	R	H29年度から 検討実施	○	○	○								○			
	・排水計画に基づく排水訓練の 実施	R	H30年度から 順次実施	○	○	○								○			
④ 弥栄ダムの効果的・効率的な運用																	
■ 弥栄ダムの効果的・効率的な運用																	
	・下流河川の被害を軽減するた め、流入量予測の精度向上等 による更なる効果的な運用を 実施	T	H25年度より 特別防災操 作(適応操 作)を試行中											○			○